

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社レゾナック・ホールディングス (旧 昭和電工株式会社)					
代表者名	氏名	高橋 秀仁	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	21 窯業・土石製品製造業				
主たる事業の概要	人造黒鉛電極の製造 (大町事業所) 耐火材・研磨材の製造 (塩尻事業所)					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外 (任意提出) の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	38,444	37,290	22,305	37,469	24,402
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	85,016	82,465	46,427	76,635	50,639
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	2,648	2,568	375	241	857
自動車の台数	台	25		26	26	27
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	193				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書 (報告書) の公表方法等

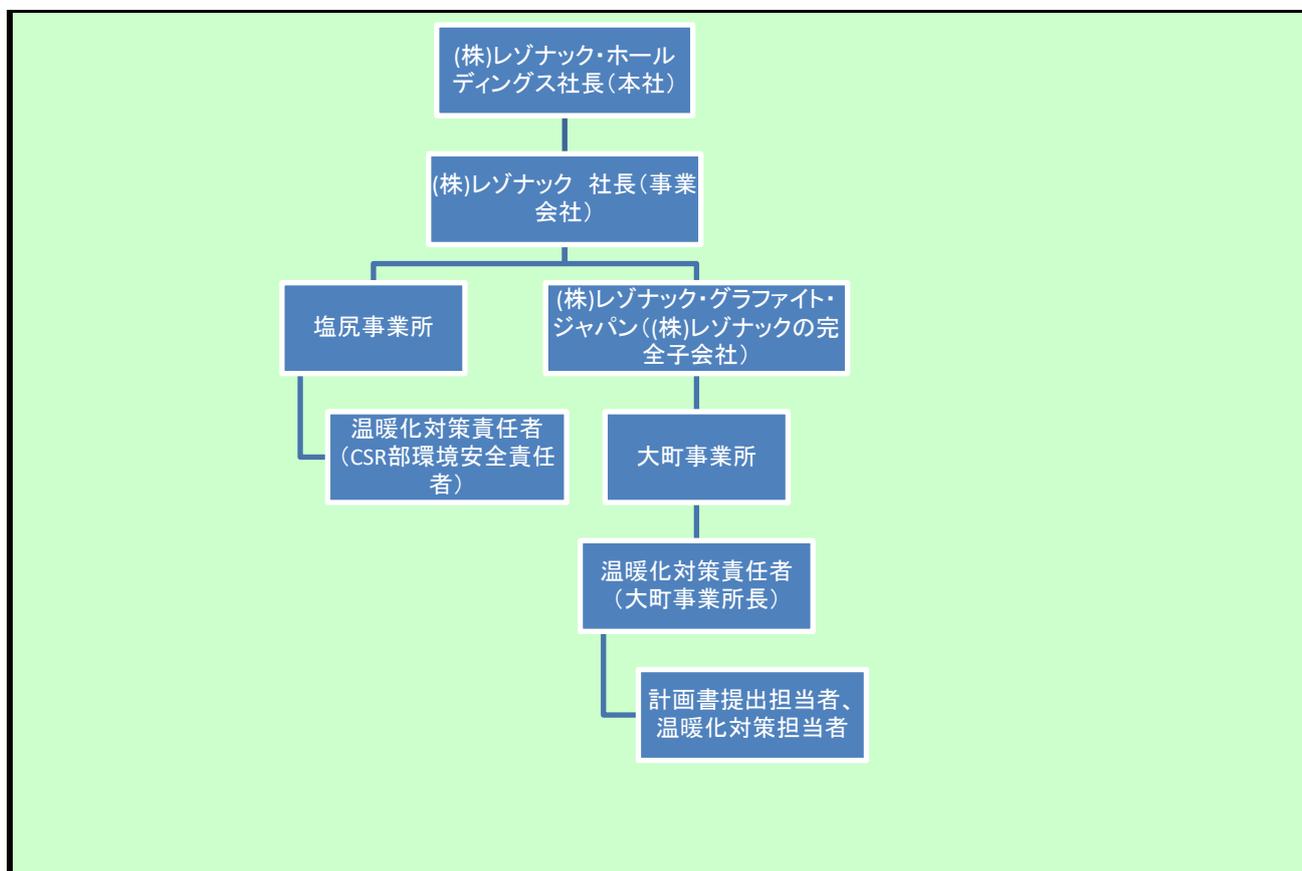
<input type="checkbox"/>	ホームページ	・閲覧場所: (株)レゾナック・グラフィイト・ジャパン 大町事業所内 長野県大町市大町6850 〒398-0002 ・閲覧時間: 9:00~12:00、13:00~16:00の間 ・閲覧希望書は、事前に予約をして下さい。 予約先は、電話番号: 0261-22-0401 大町事務所総務課
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- <レゾナック・グループ>
全社RC行動計画の方針
- ・エネルギー原単位の継続的改善
 - ・低炭素社会実現に向けたGHGの低減と省エネの推進
- <大町事業所>
- ・全体のエネルギー原単位を前年対比1%以上改善する
 - ・GHG排出量の把握と排出量を2013年比11%削減する
- <塩尻事業所>
- 環境負荷の低減・省エネルギーの推進
 - (1) 塩尻事業所中長期計画に基づき推進実行
 - (2) 塩尻事業所総エネルギーの実績把握と定期報告

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

なし

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	85,016	t-CO ₂	換算生産量	58.81	単位	千t
2019年度	調整後排出量	85,016	t-CO ₂	基準原単位	1,445.60	t-CO ₂ /	千t
目標年度	目標排出量	82,465	t-CO ₂	目標原単位	1,402.23	t-CO ₂ /	千t
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	原単位を年平均で1%減らすことを目標にする。						
第一年度	排出量	46,427	t-CO ₂	換算生産量	37.94	単位	千t
	削減率	45.39	%	原単位	1,223.70	t-CO ₂ /	千t
2020年度	調整後排出量	46,427	t-CO ₂	原単位削減率	15.35	%	
	削減率	45.39	%				
排出量等の増減理由	生産量減少による						
第二年度	排出量	76,635	t-CO ₂	換算生産量	63.68	単位	千t
	削減率	9.85	%	原単位	1,203.44	t-CO ₂ /	千t
2021年度	調整後排出量	76,635	t-CO ₂	原単位削減率	16.75	%	
	削減率	9.85	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・販売量増加により、昨年に比べ生産量が増産した（塩尻事業所）。 ・基準年度と比較して、主に生産量の減少による（大町事業所）。 						
第三年度	排出量	50,639	t-CO ₂	換算生産量	34.48	単位	千t
	削減率	40.43	t-CO ₂	原単位	1,468.65	t-CO ₂ /	千t
2022年度	調整後排出量	50,639	t-CO ₂	原単位削減率	-1.60	%	
	削減率	40.43	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・販売量減少により、昨年に比べ生産量が減産した（塩尻事業所）。 ・主に生産量の減少による（大町事業所）。 ・2023年1月に分社化を行ったため、今年度の報告は旧昭和電工(株)の使用量から算定した。 						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	2,648	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量	2,568	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率	3.02	%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	375	t-CO ₂			単位	
	削減率	85.83	%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	241	t-CO ₂			単位	
	削減率	90.89	%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	857	t-CO ₂			単位	
	削減率	67.63	%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	193	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	350699	動力3号バンク変圧器更新による 高効率化	2020	65	2020	46
2	エネ起	380752	水銀灯のLED化(第三期)	2020~ 2021	200	2020~ 2021	114
3	エネ起	380752	水銀灯のLED化(第四期)	2021~ 2022	520	2021~ 2022	114
4	エネ起	380752	水銀灯のLED化(第五期)	2022	520	2022	0
5	エネ起	360799	コンプレッサエアの削減	2021~ 2022	260	2022	0
6	エネ起	380752	照明のLED化の実施	2020~ 2022	470	2022	30
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	2	85,016	2	46,427	2	76,635	2	50,639
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	2	85,016	2	46,427	2	76,635	2	50,639

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	247	67	108	736
CH ₄	10	10	17	13
N ₂ O	2,391	298	100	47
HFC				
PFC				
SF ₆			16	61
NF ₃				
合計	2,648	375	241	857

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	2	2	0	0
合計	2	2	0	0
自動車総数	25	26	26	27
次世代車導入割合	8	7.7		

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	レゾナックグループ全体で、ホワイト物流推進運動に賛同して取り組んでいます

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2020年
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		1997年(大町) 1998年(塩尻)
	名称	ISO14001	
<input checked="" type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		2019年
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input checked="" type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		2017年
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄